

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年8月17日

号機

5

件名

原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2022年8月16日午前11時11分頃、巡視点検中の当社運転員が、地下1階の非管理区域にある高圧電源盤室において、当該電源盤室と地下2階の管理区域エリア（通路）を貫通するケーブルトレイと貫通部の隙間より、管理区域側から非管理区域側へ空気が流れていることを確認いたしました（1か所）。また、8月17日、当該電源盤室を調査した結果、空気の流れがある箇所を新たに3か所確認いたしました。

## 【対応状況】

ケーブルトレイ周辺、貫通部および管理区域内の空気について放射能測定を実施した結果、汚染がないことを確認いたしました。

なお、当該貫通部については、養生テープやシール材による閉止処置が完了しており、空気の流れは止まっております。

また、全号機の高圧電源盤室内の類似箇所を調査した結果、同様な空気の流れは確認されませんでした。

8月23日までに当該部にシール材を充填し、補修を実施したが、手をかざすと僅かに空気の流れがあることを確認いたしました。

今後、空調のエアバランス調整や定期的な漏えい確認、補修方法の検討を進めてまいります。

なお、当該エリアは二重扉の外で汚染の可能性が低い場所であり、放射能測定を実施した結果、汚染がないことを確認しています。

現在、本事案を受け、同様な箇所がないかの調査を行うべく検討を進めており、まとめ次第、調査を進めてまいります。

（2022年9月8日までにお知らせ済み）

7号機において、同様な箇所がないことを確認いたしました。1～6号機について、引き続き調査を進めてまいります。

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月14日

号機

3・4

件名

サービス建屋地下1階ダクト穴からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2022年9月13日午前10時20分頃、管理区域で作業するための保護衣・保護具の保管室（管理区域）にて、協力企業作業員が、「点検のため保温材を外した際に空調ダクトに穴(直径1cm程度、2箇所)が開き、その穴から空気が吸引されていること」を確認しました。10時50分頃、テープによる応急処置を実施し、当該穴からの空気の吸引は停止しております。

## 【対応状況】

その後、当該ダクトから吸引された空気が非管理区域側へ流れていたことが判明したため、ダクト穴周辺で放射能測定を実施し、汚染がないことを確認しております。

なお、本事案の原因等については、現在調査中です。

(2022年9月14日にお知らせ済み)

② 6、7号機において、同様な箇所がないことを確認いたしました。1～5号機について、引き続き調査を進めてまいります。

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

---

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日
号機	1	件名	港湾内への油の流出の可能性について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年9月21日